



DEREK PRINCE MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

苦難と統治

私は子としての霊を受け、その霊によって「アバ、父よ」と叫びます。

日 1970/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

パウロは、ローマ人への手紙８章１８節でこう書いています。「今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないと私は考えます。」私たちがキリストとともに統治することを願うなら、苦しむ覚悟をしなければなりません。テモテ人への手紙第二には、こう書かれています。

> 次のことばは真実です。「私たちが、キリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きるようになる。（苦しみを）耐え忍んでいるなら、キリストとともに王となる。キリストを否むなら、キリストもまた、私たちを否まれる。私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。ご自分を否むことができないからである。」（ＩＩテモテ２：１１－１３）

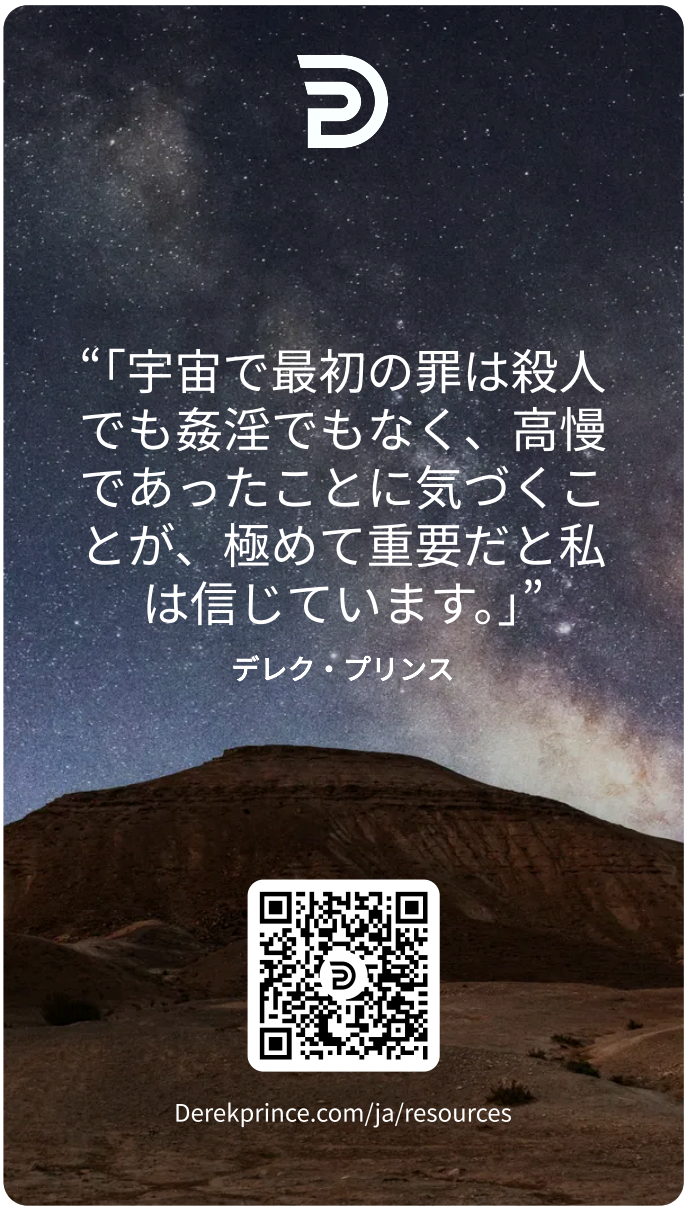
「私たちが、キリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きるようになる。（苦しみを）耐え忍んでいるなら、キリストとともに王となる。キリストを否むなら、キリストもまた、私たちを否まれる。私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。ご自分を否むことができないからである。」（ＩＩテモテ２：１１－１３）

このように、私たちは苦しむなら、王として治めるようになります。しかし、イエス・キリストを否定するなら、イエスも私たちを否定します。私たちは、人生の中でイエスとともに苦しむか、イエスを否定するかを試される時がやって来ます。その問題は私たちの前にはっきりと置かれるのです。（参照例；使徒１４：２２、ピリピ１：２９－３０、ＩＩテサロニケ１：４－１０）みなさんに説明したいイメージがあります。それは幕屋からのもので、特に大祭司の衣の主要な色である、青、紫、緋に関係します。青は天の象徴で、緋は血の象徴とともに人間の性質も表しています。紫は青と緋が完全に混ざり合ったもので、受肉した神であるキリストを物語っています。これは、天と血が完全に混ざり合った、神であり人であるイエス・キリストの性質を示す美しい姿です。

聖書における紫色の意味は二つあります。王権と苦しみです。まず地上で苦しむことによって紫色を身につけなければ、神の国で紫色を身に着けることはできません。私たちは、苦しむなら、キリストとともに王として治めることができるのです。

感謝します、父よ、私はあなたの子供です。私は苦しみに耐えるなら、あなたと共に治めることを宣言します。私は子の霊を

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク



受け取り、彼によって「アッバ、父よ」と叫びます。アーメン。

ディボーション ★
原稿: WD-B097-264-JPN
最終更新日: 05 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

"「宇宙で最初の罪は殺人でも姦淫でもなく、高慢であったことに気づくことが、極めて重要だと私は信じています。」"

デレク・プリンス

Derekprince.com/ja/resources

© 2008 - レク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク
WD-B097-264-JPN
Derekprince.com